

筑後市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）【概要版】

■ 計画策定の背景と意義

地球温暖化の問題は、猛暑や豪雨のリスクを更に高めていくことが予測され、その影響の大きさや深刻さから見て、人類の生存基盤に関わる安全保障の問題と認識されています。

速やかに適切な対策を実施しなければ、将来の世代へ大きな負荷を残すことから、私たちの世代が責任ある対策を推進し、持続的発展が可能な脱炭素社会を実現する必要があります。

本計画は、本市の自然的条件や社会的条件のもと、市民、事業者及び行政の全ての主体が、地球温暖化に伴う気候変動に対する危機意識を持ち、各主体の役割に応じて温室効果ガスの排出抑制に向けた対策と気候変動への適応を総合的、計画的に推進することを目的とした計画です。

■ 筑後市の温室効果ガス排出量の現況推計

自治体排出カルテによると、2020（令和 2）年度の筑後市の CO₂ 排出量の推計値は 537 千 t-CO₂ で、福岡県内の約 1.5%の量となっています。排出量の多さは県内で 11 番目に多く、人口比較（県内 22 番目）よりも多い順番になっています。

部門別に見ると製造業が最も多く 357 千 t-CO₂ で県内 11 番目、民生（家庭・業務）部門 89 千 t-CO₂ で県内 22 番目、運輸部門 85 千 t-CO₂ で県内 19 番目と製造業の排出量の割合が高いことがわかります。

■ 計画による温室効果ガス（CO₂）排出量削減目標（区域施策編）

筑後市の区域施策編の温室効果ガス削減目標（筑後市内の排出、すなわち住民・事業者も含む排出削減計画）は、政府の地球温暖化対策計画の部門別削減目標を基準とし下表のとおり設定します。

温室効果ガス 排出量 (単位:t-CO ₂)	2013 年度 (平成 25 年) 【基準年度】	2020 年度 (令和 2 年) 【実績】	2030 年度 (令和 12 年) 【目標】
合計	576,000	537,000 (-7%)	332,475 (-42%)
産業部門	338,000	357,000 (+6%)	209,646 (-38%)
業務その他 部門	79,000	51,000 (-35%)	38,692 (-51%)
家庭部門	60,000	39,000 (-35%)	20,430 (-66%)
運輸部門	95,000	85,000 (-11%)	61,749 (-35%)
一般廃棄物	4,000	6,000 (+50%)	1,958 (-51%)

■ 筑後市の各部門・分野(市民・事業所)での温室効果ガス排出削減等に関する 対策・施策

1. 省エネ相談・診断の推進と省エネ機器等の普及

- 省エネで重要なのは「見える化」を行った上で、正しい省エネを実践することです。家庭や事業所の省エネ診断(相談)を推進し、省エネ機器の普及を目指します。
 - ☞環境省が「うちエコ診断WEBサービス」を提供しています。

2. 自家消費型太陽光発電の導入推進

- 民間企業や地方自治体等が、屋根や駐車場に太陽光発電を設置し、その電力を建物内で消費する、いわゆる自家消費型の太陽光発電の導入等を推進します。

3. 再生可能エネルギー電力調達の推進

- 再生可能エネルギーは、太陽光や風力、地熱といった自然の力を資源として活用するもので、温室効果ガスを排出せず、また、石油、石炭等の化石燃料と違って枯渇しないエネルギー源です。また、国内で生産できることからエネルギー自給率を向上させられるといった利点があり、資源の乏しい日本においてエネルギー自給率を高めることは重要な課題と言えます。

4. ZEH・ZEBの導入推進

- 建物を対象とした脱炭素化対策として、一般住宅にはZEH化(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)を、ビルや工場、学校といった建物にはZEB化(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の検討を推奨します。
高断熱・高气密化、高効率設備によって使うエネルギーを減らしながら、太陽光発電などでエネルギーをつくり出し、年間で消費する住宅の正味エネルギー量がおおむねゼロに近づける最先端の建築技術です。

5. 施設設備等の運営

- 現在保有している施設設備等の運用方法を見直し、省エネルギー化を推進します。
 - ☞電動自動車等の活用促進
 - ☞ボイラーや燃焼機器は高効率で運転
 - ☞公共の場の駐車場等にEV充電器の設置
 - ☞照明点灯時間の短縮
 - ☞専門家診断等を活用し、設備の不適切な運用状況(無駄)を見つけて改善
 - ☞パソコン等については、昼休み等一定時間未使用な場合電源をOFFに

6. 省エネ行動の実践

- ☞過度な自動車利用を控え、公共交通機関や自転車、徒歩での移動に変える
- ☞ノーマイカーデー(月1日以上)の実施に努める
- ☞電動自動車等の購入
- ☞食品ロス削減の取組み
- ☞マイボトル、マイバック等を持参する。
- ☞エコドライブを心がける。(タイヤの空気圧のチェックを習慣づける等。)
- ☞廃棄物の削減<3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進>
- ☞宅配ボックスの設置(再配達防止による自動車の温室効果ガス削減)